

科目名：臨地実習Ⅰ<教育施設>		必	2 単位 (90 時間)
(Clinical Practice Ⅰ) 履修年次/時期：3 年次 通年 授業形態：実習 主担当教員：片岡あい子（実務経験 歯科衛生士 4 年：実務経験から地域歯科保健を担う一員としての能力が身につけられるよう実習を計画していく） 担当教員：山本裕子、伊ヶ崎理佳、角田晃			
学修目的	口腔保健の向上をめざして、幼児・児童に対しての、集団歯科保健指導を体験し、地域歯科保健を担う一員としての能力を養う。 CP1,2,3,4,5,6 に関連する。科目 No.S3C13HO9		
この科目 が目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	① 集団の対象に適した指導目標、指導案、指導原稿、指導教材を作成し、教育現場で実践できる。 ② 地域歯科保健推進にかかわる職種、役割を理解する。 ③ 児童、幼児を対象とした歯科保健指導ができる。 ④ 集団指導に対する歯科保健指導の自己評価ができる。		
授業概要	口腔保健の向上をめざして、幼児・児童に対しての、集団歯科保健指導を体験し、地域歯科保健を担う一員としての能力を養う。		
授業計画	(実習場所) 準備期 第2、3、4実習室、教室等 実習期 鎌倉市、小田原市、湯河原町、真鶴町の小学校 箱根町の小学校、幼稚園・保育園 (実習方法) - 指導教材、指導原稿、指導案の作成 - 予行演習 - 対象の把握 実施先ごとの打ち合わせ - 教育現場における集団歯科保健指導の実施、動画教材作成 - 指導後の評価、改善 - 振り返り		
評価方法	出席することを原則として、小論文(40%)、実習点(60%)の総合評価		

	課題に対するフィードバックは掲示で行う。
教科書	『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『歯科衛生士講座 小児歯科学』 新谷誠康編集主幹 永末書店
参考書	各自、対象者への指導準備のため知識確認に必要な書籍、参考文献 随時紹介します。
オフィスワ- 連絡先	片 岡 月～金 16:00～17:00 3号館 2 階研究室 kataoka@kdu.ac.jp 山 本 月～金 16:00～17:00 3 号館 2 階研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 伊ヶ崎 火～金 16:00～17:00 3号館2階研究室 ikazaki@kdu.ac.jp 角 田 月～金 16:30～17:00 4 号館 2 階研究室 tsunoda@kdu.ac.jp ＊不在時はメールにて連絡をください